

事業名	発達障害者援護費			調書番号	53
細事業名	発達障害者支援センター費	財務コード	698903		
担当部課室	子育て支援 局	子ども福祉 課	拠点整備 担当 (内線)	3433	

## I 事業の概要

実施期間	始期 H18 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	山梨県(こころの発達総合支援センター)		
目的	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか
	①発達障害(児)者とその家族 ②発達障害(児)者の支援機関	①乳幼児期から成人期まで、一貫した専門的な支援が受けられる ②支援技術等の向上、ネットワークの構築	
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○相談支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・発達障害児(者)やその家族に対する相談支援:4,293件</li> </ul> </li> <li>○地域支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療、保健、福祉、教育、就労等支援関係者への助言やコンサルテーション:555件</li> <li>・発達障害者の支援を行う関係機関による情報共有・支援体制整備の検討:1回</li> <li>・市町村等行政担当者会議・研修会:1回</li> </ul> </li> <li>○研修・普及 <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎研修:市町村保健師、保育士等を対象とした発達障害に関する知識・対応等の研修:2回</li> <li>・専門研修:基礎的な知識や経験を有する支援者を対象とした技術向上研修:2回</li> <li>・精神科医師等によるSV研修:小児科医や精神科医、指導的な役割を担う関係職員等を対象とした診療対応力等強化研修:6回</li> <li>・ペアレントサポートプログラム:1回(コース開催)</li> </ul> </li> </ul>		

## II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31(R1)年度	R2年度
活動指標	研修会の開催回数(単位:回)	目標	12	12	12	12	11	11
		実績(見込)	14	13	15	13	11	
		達成率	116.7	108.3	125.0	108.3	91.7	100.0
		達成区分	b	b	a	b	b	b
成果指標		目標						
		実績(見込)						
		達成率						
		達成区分						
決算(予算) 単位:千円		8,216	7,821	7,878	7,229	6,424	7,161	9,954

## III 事業の評価(平成30年度の業績評価)

活動指標	b	評価	市町村保健師等支援者や医師、医療従事者等多職種を対象に、発達障害や子どもの心の問題に関するレベルや経験に応じた多様な研修等を計画・実施しており、予定通りの成果があった。
成果指標	a		

## IV 見直しの必要性(平成31年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い	<input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる	<input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input checked="" type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input checked="" type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input checked="" type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他 ( )		
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上は余り望めない
	説明			
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 発達障害者支援法に基づく事業を実施しているため )		
その他	説明			
見直しの必要性	無	法令の趣旨に基づき、発達障害児者等に対する相談支援のほか、人材育成や地域における支援体制づくりを進め、発達障害児者等が身近な地域で必要かつ適切な支援を受けることができるよう、引き続き取り組んでいく。		

## V 見直しの方向(令和2年度当初予算等での対応状況)

他事業と統合	説明	事業体系の見直しを行った。この結果、国の補助金を活用することができることとなり、歳入確保につながる見込み
--------	----	--

\*見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。